



12番
 附田和花さん(北國小)
 質問 市民の心が豊かで優しい市にしたい。青空図書館を実施し、PRのためケーブルテレビを設置してはどうか。
 答弁 市民図書館の芝生広場を活用し、イベント開催を検討したい。PRは既存の媒体を充実させ情報発信をしていきたい。

11番
 立崎龍之介くん(北國小)
 質問 地球温暖化防止に貢献する市にしたい。電気自動車購入補助金を出してはどうか。
 答弁 電気自動車の無料充電スタンドを市内3カ所に設置し、支援をしている。まず市民が身近でできることをするよう呼び掛けていきたい。

10番
 高橋駿輔くん(北國小)
 質問 大きな店があって誰でも楽しめる市にしたい。いろいろな店や公共施設を増やしてはどうか。
 答弁 中心市街地の活性化のためさまざまな事業に取り組んでいる。空き店舗活用の支援にも努めたい。

9番
 長瀬玲奈さん(ちとせ小)
 質問 住心地のよい市にしたい。市民参加のゴミ拾いや高齢者支援をしてはどうか。
 答弁 市民がゴミ拾い活動に参加するように支援・呼び掛けをしたい。高齢者が安心して暮らすためのネットワークづくりに取り組んでいる。

16番
 繁在家千南さん(北國小)
 質問 安全で安心して住める市にしたい。交通事故を減らすために歩車分離式信号機に目立つ印を付けてはどうか。
 答弁 関係機関と協力して交通事故防止活動を実施している。目立つ印については信号機を設置している警察と相談したい。

15番
 長畑智良さん(北國小)
 質問 スポーツが盛んな市にしたい。雨天時に使用できる屋内施設を建設してはどうか。
 答弁 既存の焼山地区のアンネックススポーツランドの活用を動いている。新規建設は公共施設全てを含んだ建設計画の中で検討していきたい。

14番
 柏崎花さん(北國小)
 質問 市民が市の特産物や観光資源を大切にしたい。観光資源のPR、勉強会、清掃活動などをしてはどうか。
 答弁 PRは実施している。勉強会はふるさと出前きらめき講座が利用できる。清掃活動への参加を呼び掛けたい。

13番
 菅優月さん(北國小)
 質問 活気があって明るい市にしたい。市民のニーズを知るためにイベントに係るアンケートを実施してはどうか。
 答弁 イベントの充実と役立つ一つの手段としてのアンケート実施をイベント主催者などに働き掛けていきたい。

十和田市の未来を一緒に考える

12月25日、市議会議場で「とわだ子ども議会」が開催されました。これは、子どもたちが議会の模擬体験することで、議会や市役所の仕組みを学び、質問を通して市について考え、郷土を愛する心を育むことを目的に、平成25年から行っているものです。

勉強会で議会や市役所の仕組みを学んだ市内小学校6年生の22人の子ども議員は、緊張した面持ちで入場し、議席に着席しました。議事の進行を金澤瑛太くん(三本木小)と米田光希さん(ちとせ小)が交代で行い、市政に対する質問を行いました。22人の子ども議員が、市民ふれあいイベントの開催や屋内スポーツ施設の増設などについて質問すると、答弁に立った小山田市長や米田教育長は丁寧に答え、子ども議員はメモを取るなどして真剣に耳を傾けていました。

議長を務めた金澤瑛太くんは、「緊張しましたが、本番でしっかりできました。自分では百点の出来です。議員の仕事を経験したこと、このような形で十和田市のことが決まっているのだということがわかりました」と感想を話しました。

20番
 佐々木栄峰さん(三本木小)
 質問 自然と観光施設のバランスの良い市にしたい。奥入瀬渓流の滝の看板設置と土産店の増設してはどうか。
 答弁 看板については設置している青森県に働き掛けたい。土産店増設の前に観光客を増やす取り組みをしたい。

19番
 二本柳愛子さん(三本木小)
 質問 高齢者や体の不自由な人が楽しく生活できる市にしたい。公共施設にスロープや手すりを設置してはどうか。
 答弁 市民文化センターや市民交流プラザには設置している。平成31年に建設予定の市役所新庁舎にも設置したい。

18番
 金澤瑛太くん(三本木小)
 質問 安全で安心して暮らせる市にしたい。不審者目撃情報などを早く市民に伝える仕組みを作ってはどうか。
 答弁 平成23年から携帯電話などを通じて情報を伝える駒らん情報メールの運用を開始したので登録をお願いしたい。

17番
 四橋愛理州さん(北國小)
 質問 高齢者や子どもが住みやすい市にしたい。健康維持活動への取り組み、防災マップの作成をしてはどうか。
 答弁 健康維持活動への支援をし、各種の予防マップも作成されている。地域ぐるみの防犯活動を広めていきたい。

4番
 新山功純くん(南小)
 質問 家族連れでにぎわう市にしたい。屋内型の遊べる施設の設置や施設巡りツアーを開催し、観光客にPRしたらどうか。
 答弁 施設の方向性を決める計画の中で検討したい。観光客のニーズに応えられるツアーなどを検討していきたい。

3番
 久留主和彦くん(南小)
 質問 歩道などにゴミが落ちていないきれいな市にしたい。いろいろな場所にゴミ箱を設置してはどうか。
 答弁 ゴミを自分の家に持ち帰り、ゴミ出しのルールを守ってもらえるよう市民の皆さんをお願いしていきたい。

2番
 水尻穂香さん(西小)
 質問 もっとにぎやかな市にしたい。「夏祭り」と「冬祭り」を増やしてはどうか。
 答弁 市では1年を通してたくさんイベントが行われている。そのイベントをより充実させ、市内外に広くPRすることをもっと活気づかせたい。

1番
 澤口詩さん(西小)
 質問 環境に気を配れる市にしたい。ボランティアのチームを作ってはどうか。
 答弁 現在、多くの環境を守るボランティア団体が活動中である。その活動状況を広報などで市民の皆さんにお知らせし、活動を支援していきたい。



22番
 大竹真央さん(三本木小)
 質問 観光客が訪れる活気と笑顔が溢れる市にしたい。特産品の全国展開や観光スポットの増設してはどうか。
 答弁 特産品の売り込みは市内外のイベントで積極的に実施している。観光客のニーズに応える取り組みを検討していく。

21番
 小川微菜子さん(三本木小)
 質問 他県の人に来て欲しいと思うような市にしたい。十和田産品や十和田ふあみりーずをSNSを活用し、PRしてはどうか。
 答弁 平成24年度よりフェイスブックやツイッターで情報発信をしている。より行き届いた情報発信を心掛けたい。

8番
 米田光希さん(ちとせ小)
 質問 観光客が楽しめる市にしたい。家族みんなで楽しめるレジャー施設を作ってはどうか。
 答弁 施設の方向性を決める計画の中で検討したい。道の駅や駒っこランドなどを利用して楽しんでいただきたい。

7番
 宮田あかりさん(南小)
 質問 選挙の投票に参加する人が多い市にしたい。期日前投票所を増やしてはどうか。
 答弁 選挙権が18歳から与えられる法律改正を受けて、有権者の増を見越して、期日前投票所を来年度から2カ所増やすことで準備を進めている。

6番
 鳥谷部凜さん(南小)
 質問 市民が仲良く生活できる市にしたい。交流施設設置や月1回のふれあいイベントを実施してはどうか。
 答弁 市民交流プラザがオープンし交流の場として利用いただいている。イベント実施については考えていきたい。

5番
 佐藤友梨さん(南小)
 質問 高齢者が住みやすい市にしたい。高齢者を介護する人を設置してはどうか。
 答弁 現在、介護保険という仕組みによって、介護サービスが利用できる。提案のあった散歩などの運動習慣も勧めたい。